

# 事業概要シート

施策： 社会保障制度の安定的運営

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 介護相談員派遣事業	現状維持	予算額	2,318 千円
			《 2,397 》
		財源内訳	国庫支出金 891 千円
			県支出金 445 千円
			地方債 千円
			その他 5 千円
			一般財源 977 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

介護サービス利用者と事業所の「橋渡し役」として、一定水準の研修を受けた介護相談員が、介護サービス事業所等を訪問し、サービス利用者や家族の不満・疑問等の相談に応じ、その解消を図ることにより、利用者が安心してサービスの利用を受けるための環境づくりを目指す。

### (1) 介護相談員による訪問相談の実施

介護相談員が介護サービス事業所を訪問し、施設及び利用者との面談を通して、介護保険制度の課題や問題点を把握する。

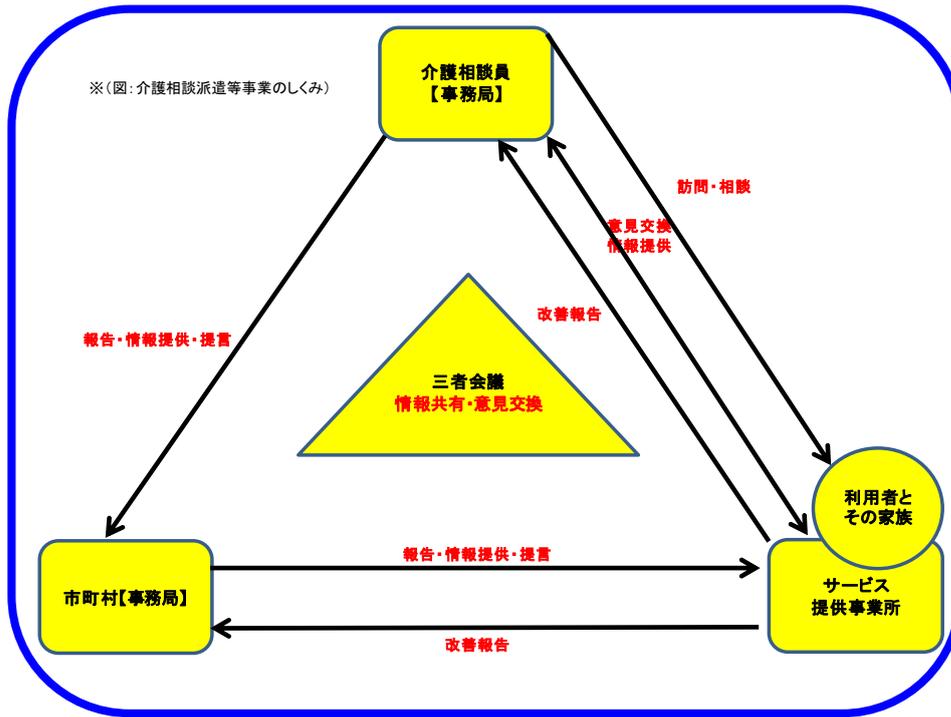
### (2) サービス適正化への取り組み

相談活動を通じて把握した課題等について、介護サービス適正化の観点からの指導を行う。

### (3) ふれあいボランティアの育成

サービス利用者が抱える悩みや相談事項に対応するふれあいボランティアを養成する。

対象： 介護保険サービスを利用する高齢者及びその家族等



## 【背景】

介護サービス事業所の利用者が、日頃の不安や悩みを第三者である介護相談員やふれあいボランティアに相談することにより、利用者のストレス解消につながるだけでなく、介護サービス事業所のサービス向上にもつながる。

担当課	福祉保健部長寿介護課	問合せ先	0957-20-7301 (内線89-105)
-----	------------	------	-------------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	介護サービス事業所を訪問した回数	回	124	120	120	120	120
②	ふれあいボランティアの人数	人	4	7	7	7	7

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	訪問事業所で面談した人数のうち相談を受けた件数の割合	%	11.7	11	11	11	11
②							

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	2,167	2,034	2,294	2,397	2,318	2,318	13,528
国庫支出金	853	791	892	932	891	891	5,250
県支出金	426	395	446	466	445	445	2,623
地方債							0
その他	618	595	7	7	5	5	1,237
一般財源	270	253	949	992	977	977	4,418
人件費	1,058	776	800	436	436	436	3,942
職員	0.14人	0.11人	0.11人	0.06人	0.06人	0.06人	0.54人
時間外勤務	0h						
嘱託員							0.00人
フルコスト	3,225	2,810	3,094	2,833	2,754	2,754	17,470

妥当性 (市の関与)	利用者と介護サービス事業所の橋渡し役となっている介護相談員を保険者である市が派遣することにより、利用者の状況や介護サービス事業所の状況を迅速に把握することができるため、事業所に対する指導や勧告等をスムーズに行うことができる。
有効性 (施策貢献度)	介護保険制度や相談に必要な技術についての研修を受講した介護相談員が従事することで、質の高い相談業務を行うことができる。
効率性 (コスト)	介護相談員1名と他はふれあいボランティアで市内の68事業所の介護相談を実施しているため、最小限のコストで事業運営ができています。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり